

04/26・サウジ、国営石油会社アラムコ上場へ 時価総額220兆円見込む < 1 >

- 「脱・原油依存」経済改革構想で収入源多様に 軍事会社も上場へ
- ・メキシコ拠点、世界へ車 45カ国とFTA強み 世界大手が各地で生産  
マツダ・日産、欧州・中南米に輸出 フォード、30年ぶり工場新設
- ・韓国0.4%成長に減速 (1-3月) 輸出減で投資意欲鈍る < 2 >

04/27・パナマ文書 日本関連270社明記 丸紅、伊藤忠、UCC、セコムなど

- ・豪潜水艦、日本受注逃す 「武器輸出三原則」解禁から2年
- ・Apple13年ぶり減収 (1-3月) iPhone初の販売減 ドル高響く

04/28・日銀金融政策決定会合 金融政策は現状維持 マイナス金利効果見極める

- 物価目標までも先送り「17年度中に」(前半ごろ、から)  
日経平均一時560円安 円は急騰108円台に
- ・消費支出3月5.3%減(総務省発表) 消費者物価は5カ月ぶりに下落
- ・FRB追加利上げ見送り FOMC(米連邦公開市場委員会、27日)  
景気判断引き下げ「米経済は減速した」個人消費鈍化に懸念
- ・NY原油一時45ドル 5ヶ月半ぶり高値
- ・サムスン営業益12%増(1-3月) スマホのコスト削減にウォン安も追い風

04/29・米成長率0.5%どまり(1-3月) 設備投資減、消費も鈍化で2年ぶり低い伸び

- ・米FRB、続く綱渡り 株価や為替を注視 耐久消費財マイナスに < 3 >
- ・黒田日銀総裁会見 強気「黒田流」に試練 < 4 >  
マイナス金利「変化表れにくい」 「所得とし湯角好循環は持続」消費の実態とズレ  
1-3月はゼロ成長も 市場失望、円高・株安進む

04/30・米財務省報告書、日本の為替政策「監視リスト」に 円売り介入けん制 < 5 >

- 日本、中国、独、韓国、台湾を指定 NY市場で円、106円台前半
- ・ユーロ圏、年2.2%成長 1-3月期0.6% 先行きに「政治リスク」
- ・台湾経済、中国リスク鮮明 3期連続マイナス成長 IT製品の輸出不振 < 6 >
- ・米物価上昇率3月1.6%に鈍化(2月1.7%) FRB2%目標に足踏み

05/01・米為替監視、裏にTPP 早期批准へ議会懐柔 円高・株安、加速の見方

- ・麻生財務相「円高、必要に応じ対応」 米報告書に制限されず
- ・日中、関係改善へ努力 岸田外相訪中  
首脳会談の早期実現一致も「南シナ海」は平行線
- ・原油安、石油メジャー直撃  
エクソンモービル純利益63%減少 シェブロン2四半期連続赤字

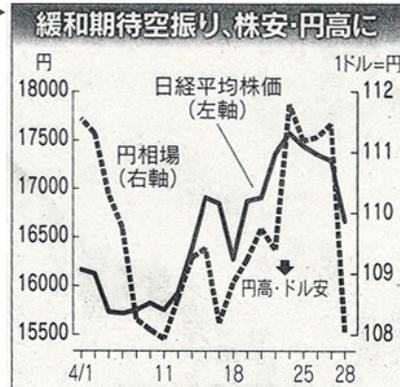
<1>



<2>



<4>



<3>

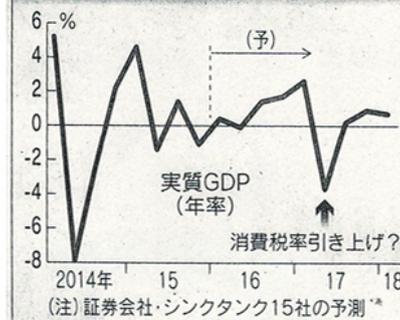
**1~3月期の米GDP速報値**

金額は億ドル、季節調整済み、年率。2009年基準価格。カッコ内は増減率%、前期比年率。▲はマイナス。出所は米商務省

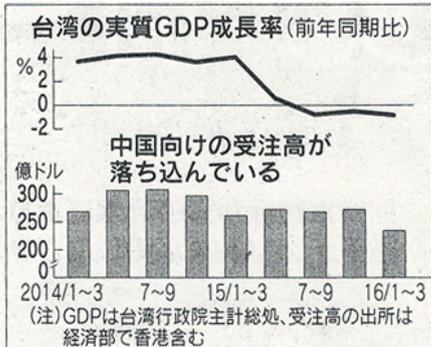
国内総生産	164,927(0.5)
個人消費支出	113,832(1.9)
民間設備投資	21,799(▲5.9)
民間住宅投資	5,667(14.8)
民間在庫投資	609(—)
純輸出	▲5,666(—)
輸出	20,967(▲2.6)
輸入	26,633(0.2)
政府支出	28,789(1.2)
GDPデフレーター	—(0.7)



**16年以降も低成長が続くそう**



<6>



<5>

**5カ国・地域を指定**

▼為替政策「監視リスト」の2%超えを条件に掲げ、部分的に抵触すれば、監視リストに入れる。日本は3条件のうち①に該当している。仮に巨額の円売り介入に動いて3条件全てに抵触すれば、米国は2国間協議では正策を求め、改善できなければ制裁対象とする。

ト」2月に成立した貿易円滑化・貿易執行法に基づき、米財務省が半期為替報告書で対米貿易黒字国を対象に初めて指定した。①対米貿易黒字が年200億ドル超②経常黒字が国内総生産(GDP)の3%超③為替介入による外貨買いがGDP